

きずな通信 No.41



2021年7月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

令和二年度活動報告

今年の3月に地区内報告会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のために中止となりました。令和二年度の活動報告を紙面にて報告させていただきます。それぞれの部会で活動計画がありましたが、感染症予防対策のために、中止や延期を余儀なくされました。

◆ふれあい交流部会

- 三夜沢あずき
復活プロジェクト（通年）
（収穫量：約3升）



○いいもん祭り11月中止

○Aコープマルシェ

Aコープみやぎ店
12月6日（日）



北爪直売所さん
三夜沢あずきあんぴん

○軽スポーツフェス

3月中止

◆自然環境交流部会

- 荒砥川美化運動
春：6月28日（日）
秋：10月11日（日）



待ったなしの
除草作業

○第11回荒砥川自然満喫会

6月中止

○荒砥川源流探訪会

秋中止

○星空観察会（協働：公民館講座）

2月下旬中止

◆福祉交流部会

- エコキャップ回収運動
前期中止 後期355kg

○防災研修会の開催

9月16日（水）



研修会も
ソーシャルディスタンス

◆広報委員会

- 部会事業の取材・宣伝・広報
- Facebook・YouTubeを活用した広報活動

○きずな通信発刊年4回発行

○コロナ禍代替事業



つなごろう！
みやぎプロジェクト

◆全体事業

- 企画委員会 3回
- 運営委員会 4月（書面）
- 各種事業協力参加
- ・のびゆく！子どものついで中止
- ・前橋市地域づくり推進大会 中止

・宮城地区納涼祭 中止

○地域づくりワーキング 中止

○地区内報告会 中止

★交流会 今年度の予定

コロナ禍にあり、「新しい生活様式」の中でも、やれることを進めていきます。実施の際は、「ご協力をお願いいたします。」

なお、本年度の「荒砥川自然満喫会」は中止となりました。

（前原清記）

令和3年度
地域づくり交流会役員

- 会長 井上 憲明
副会長 松村 誠(自治会)
久保木 誠一(自治会)
会計 石橋 玉枝
ふれあい交流部会
部長 大崎 博之
副部長 前原 清
自然環境部会
部長 井上 憲明
副部長 宮田 光子
副部長 榊澤 安之
福祉交流部会
部長 澁谷 義雄(自治会)
副部長 深津 博
副部長 渡辺 晋
広報委員
委員長 前原 清

委員

- 大崎 博之
上野 実
渋谷 康之
榊澤 安之
東宮 秀樹
阿久澤 孝子
松村 紀江
栗原 睦
栗原 治仁
栗原 大輔
手島 敏達



会長就任にあたって

コロナ禍の影響で活動が休止状態となっておりますが、心と汗による活動を早く再開できるように念じております。今年度から、会長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

井上 憲明

伝説の滝沢不動尊とその歴史

小雨降る5月5日水曜日、宮城郷土史会主催の見学会に参加させていただきました。滝沢不動尊のご開帳日に合わせて、不動大滝、忠治の岩屋、修験道のお寺・三宝堂、不動尊の足部分を保管する桐生市の瀧興寺を訪れました。粕川町室沢に位置する滝沢不動尊は応永十三年(一四〇六年)に造立したものといわれ、今は当地区の自治会役員さんたちを中心に室沢地区のみなさんで管理をされています。

この不動尊は八十五センチメートル、重量百キログラムの赤銅製で、火焰、右腕、両足がないう姿から「片手不動」と呼ばれているそうです。では、なぜこの不動尊の右手はなくなってしまったのでしょうか。実はこれ

には、かの有名な上杉謙信が関わっているそうです。謙信が鎌倉攻めをする際に、戦の神様である不動尊の右腕を戦勝祈願のために持ち出したといわれており、さらに興味深いことにそれを

持って埼玉県の鹿島神社を宿にして寝ていたところ「この腕を持っていくと戦に負ける」と神からのお告げを受け、その神社の不動明王の胎内へ保管されるようになったそうです。その後訪れた不動大滝は想像していたより壮大で、神聖的でした。落差約三十二メートル、建物でいうと九階建てぐらいの高さから叩き落ちる水流は何度も生で見たくなる迫力です。

国定忠治ゆかりの地である忠治の岩屋は、中には入ることができませんでしたが案内役の方が当時の装いで勢い満点に語ってくれた姿に感動しました。

に感動しました。

最後に訪れた桐生市新里町の瀧興寺では、本来は住職以外の立入を禁じている内陣に特別に入れて頂き、滝沢不動尊の両足を拝見しました。ここ瀧興寺の住職は宮城の金剛寺にて修行を積まれたそう縁の深さを感じました。

いかがだったでしょうか。私は小さい頃、大滝へ行くのに幾度も滝沢不動尊を通ったはずなのですが、今回のようなお話しはすべて初耳でした。知的好奇心をくすぐられ、実は近いところの歴史ほどあまり知らないのかもしれないと考えさせられた日となりました。またこのような見学会があればぜひ参加してみたいと思います。みなさんも是非、一緒に歴史探訪の旅へ出掛けましょう。

(栗原大輔 記)



ばは君が私たちの代わりに願掛けしてくれました
作：大崎 博之
画：榊澤 安之



滝沢不動尊 (記者撮影)